

三田図書館・情報学会運営委員会議事抄録

日時:2025年6月20日(水)18:30~21:00

場所:Zoomによるオンライン開催

出席者: 運営委員: 池谷のぞみ, 市古みどり, 荻原幸子, 岸田和明, 谷口祥一, 永崎研宣, 根本彰, 和気尚美(五十音順)

監事: 汐崎順子, 杉江典子

事務局: 安形麻理, 福島幸宏, 松本直樹, 宮田洋輔

欠席者:

(敬称略)

【2024年度事業報告】

1. 編集委員会報告

安形(編集委員会委員長)が, 資料 1, 2 に基づき, 会誌(No. 91, No. 92)の刊行, 学会賞の選考, 編集委員会の開催, 編集状況(2024年度及び過去5年間), 学会誌発行にかかわる費用について報告した。

2. プログラム委員会報告

永崎(プログラム委員会委員長)が, 資料 3, 4, 5 に基づき, 2024年度月例会(第193回~第194回, 特別月例会), 研究大会, ベスト・プレゼンテーション賞授与, スライド公開, プログラム委員会の開催について, 報告した。

3. 研究助成

宮田(学会事務局)が, 資料 6 に基づき, 研究助成に関して報告した。2024年度は3件の申請があり, 北村智仁氏「公立図書館による地域資料としてのエフェメラの書誌コントロール」と東山由依氏「司書教諭と教員の協働による探究学習:小中混在校のフィールドワークに基づく分析」の2件が採択された。規定に関わる過年度の研究助成の投稿状況についても報告した。

4. 2024年度決算報告

福島(学会事務局)が, 資料 7-1 に基づき決算に関して報告した。本年度より外部の公認会計士による会計監査を受け, 会計処理が適性であるとのコメントを報告した。

汐崎監事が監事を代表し, 2024年度学会事業活動について学会の目的に沿った適切な活動がなされている旨を報告した。ハイブリッド形式での月例会開催, 研究発表から論文掲載につながっていないこと, LIS誌即時OA化にともなう学会誌以外の会員メリットの創出, 会計資料での備考欄の充実, 会計費目の明確化, 公認会計士監査費用の負担感などについてのコメントがあった。

安形(編集委員会委員長)が, 印刷費と刊行費の区別について, 会計監査終了後であったため, 記載を変更しなかったが, 今年度から修正する旨を説明した。

【2025年度事業計画】

1. 編集委員会

安形(編集委員会委員長)が、資料 8, 9, 10 に基づき説明した。

- No. 93 については編集作業を終了し刊行予定。No. 94 は 12 月に刊行を予定している(資料 8)。
- 2025 年度の学会賞の選考を、No.92, No.93(刊行予定)掲載の原著論文 3 編を対象として編集委員会で行う(資料 9)。
- 投稿規程, 執筆要綱, および「投稿にあたってのチェックリスト」を改訂する(資料 10)。

2. プログラム委員会

永崎(プログラム委員会委員)が、資料 11 に基づき説明した。

- 研究大会は 11 月 8 日(土)三田キャンパス東館 G-Lab にて対面で開催する。オンライン配信も基本的な範囲で実施する。今年度も、研究発表を中心とする。会員からは参加費は徴収せず、非会員からのみ参加費を徴収する。発表申込の審査及びベストプレゼンテーション賞の選出・授与は昨年度通りに行う。発表申込数が多い場合の対応について検討している。
- 月例会は、第 195 回~197 回の 3 回とし、対面での開催を中心としつつ、講演者の状況等に応じて柔軟に対応する。対面と併せて、オンライン配信も基本的な範囲で対応していく。入会することのメリットの観点から、引き続き非会員から参加費を徴収する。
- 三田図書館・情報学会の発表における査読制度の導入を提案した(資料 11-1)。初期キャリア研究者の業績の観点から、査読付き研究発表を 2026 年度研究大会からの査読制の導入について検討を進めている。

3. 三田図書館・情報学会研究助成

宮田(学会事務局)が、資料 12 に基づき、三田図書館・情報学会研究助成について説明した。今年度は 3 件の申請があり、審査によって、松谷有美子氏「朝河貫一が主導した洋書の寄贈：慶應義塾図書館および早稲田大学図書館を中心に」を採択した。

以上、本年度の事業計画が承認された。

【2025 年度予算案】

福島(学会事務局)が、資料 13 に基づき予算について説明した。学生は前年度の 2024 年度徴収分になることが訂正された。

【即時オープンアクセス化への対応】

安形(LIS 誌の即時オープンアクセス化検討ワーキンググループ主査)が資料 14 に基づいて、検討の過程, 経費削減の方策, 収入増加の方策, 即時 OA に関する結論について説明した。

池谷(会長)が、資料 15 に基づいて、WG の提言を受けた対応(案)を報告した。対応案として、LIS 誌の即時 OA 化, 学会誌刊行費の削減, 会員メリットの維持, 会員増

加へ向けた方策について説明した。

【委員の交代】

安形(学会事務局)が, 資料 16 に基づき, 委員の退任及び交代(運営委員, 編集委員会委員, 事務局)について報告し, 承認された。

【学会会員の異動】

福島(学会事務局)が, 資料 17 に基づき学会費長期滞納者1名の除名, 個人会員と機関会員の学会費支払状況について説明した。除名処分について承認された。

【その他】

- 即時 OA 化, 実務者との関わり, 補助金, 公認会計士による監査の導入などについての質疑応答が行われた。

以上, 承認された。

(記録担当: 宮田)